

市民の負託に応えて…。

# おかや 市議会だより

Okaya City Assembly News

## 第9号

2017年(平成29年)  
10月25日発行

発行:岡谷市議会／編集:議会広報広聴委員会

(写真: 昨年の議会報告会)

特集  
**決算  
認定**

### 岡谷市議会 議会報告会

## ～ぎかいタウンミーティング～を開催します

ご近所お誘いのうえ、お気軽にご参加ください

日 時: 平成29年11月6日(月)午後7時～

場 所: テクノプラザおかや

内 容: 議会の活動報告／意見交換

●意見交換会テーマ(希望するテーマに分かれて意見交換)

①子どもたちの教育について

②公共施設のあり方について

③子育て支援について

④地域医療について

⑤商業の活性化について

⑥土木要望について

議会の活動状況を報告するとともに、皆さんの声を直接お聞きし、議会活動に活かしていくため、意見交換会を開催します。

#### ●もくじ

【特集】平成29年第4回定例会

平成28年度各会計決算を認定しました…2～5

議案賛否一覧 ……6

平成29年 第4回定例会 結果報告 ……6

委員会活動報告 ……7

一口メモ ……7

ピックアップレポート ……8

編集後記 ……8

# 平成28年度 各会計決算を認定しました

| 会計名           | 歳入決算           | 歳出決算           | 結果 |
|---------------|----------------|----------------|----|
| 一般会計          | 21,342,233,565 | 20,669,552,594 | 認定 |
| 国民健康保険事業特別会計  | 5,717,924,851  | 5,600,151,340  | 認定 |
| 地域開発事業特別会計    | 192,197,744    | 528,909,717    | 認定 |
| 分収造林事業特別会計    | 20,772,299     | 19,640,949     | 認定 |
| 霊園事業特別会計      | 67,158,273     | 34,682,241     | 認定 |
| 温泉事業特別会計      | 33,996,281     | 20,927,383     | 認定 |
| 後期高齢者医療事業特別会計 | 734,058,295    | 714,543,195    | 認定 |
| 湊財産区一般会計      | 9,325,987      | 1,744,465      | 認定 |
| 水道事業会計（収益的収支） | 897,455,386    | 707,604,148    | 認定 |
| 下水道事業会計（ 〃 ）  | 1,800,859,937  | 1,537,199,591  | 認定 |
| 病院事業会計（ 〃 ）   | 7,019,642,879  | 6,875,648,133  | 認定 |

（企業会計収益的収支 消費税込み）

## 審査結果

**決算特別委員会**  
一般・特別会計・企業会計

平成29年 第4回定例会（9月議会）  
平成29年9月4日（月）から平成29年10月2日（月）までの29日間の会期で開かれ、報告案件が3件、一般議案が6件、議員提案が7件、決算議案が11件、計27議案が審議されました。（審議結果は6ページをご覧ください。）  
なお、平成28年度一般会計・特別会計・企業会計の決算（11議案）は決算特別委員会に付託され、計4日間の審査を行い、10月2日に開催された本会議において、委員長報告が行われました。（委員長報告の内容は岡谷市議会ホームページに掲載）各会計の決算関係について、決算特別委員会での主な審査経過をお知らせします。

## 岡谷市一般会計

### 歳入歳出決算認定

#### 【平成28年度決算の評価】

- ・6つの重要施策については、全ての施設において供用が開始されることとなり、今後は公共施設等総合管理計画に基づく取り組みを進め、新しい施設と既存施設が融合した、新たなまちづくりを推進してまいりたいと考えている。

- ・「岡谷市行財政改革3か年集中プラン」の着実な推進に向けて努力を重ねた結果、平成28年度一般会計は、実質収支で6億3900万円余の黒字を計上することができた。

- ・国や県の補助金を中心とした特定財源の積極的な活用にも努め、基金からの繰入金においては、当初予算に比べ約8千万円の減

額を図るなど、後年度の財政運営に十分配慮した決算とすることができた。

- ・将来の負担に大きく影響する市債の状況は、キャップ制の徹底などにより、平成28年度末の現在高は、約250億9千万円で、前年度比で約1億3千万円の減となっている。

- ・少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が進み、市税収入の増収が見込めないことから、限られた財源の中で、国の動向などに注視しながら、継続的で健全な財政運営について最大限の努力をしてまいりたい。

#### 問 福祉タクシーについて

**答** 平成28年度では、利用者の動向等を勘案して車両台数の適正化と運行稼働率の向上を目指し、配車台数の見直しを実施した。しかしながら、利用者の減少が続いている一方で、現行制度における対象者は増加していることから、利用者の声を聴取して実態の把握に努め、潜在的需要など、あらゆる視点から検証して、より利用しやすい制度となるよう取り組んでまいりたい。

利用者の声については、事業者からの聞き取りや、利用者アン

ケートを実施するなど利用者の声を拾うよう取り組みを行っている。



#### 問 岡谷蚕糸博物館について

**答** 平成28年度の年間入館者数は、3万2027人となり、前年度と比べ、約31%の減となったが、来館者のアンケートでは、5段階で4・5点程度と高い評価がされている。さらに、修学旅行等による入館者が増加するなど、観光協会等と連携した旅行会社への働きかけが実を結んできている。

また、企画展や定時解説等の開催により、「歴史を伝える」という博物館の使命を果たすための取り組みが着実に進んできている。

#### 問 土木要望に対する対応状況について

**答** 各区からの土木要望については、必要性に応じて、次年度に箇所付けし工事を実施しているが、緊急性や危険度が少ない箇所につ



いては経過観察としたり、長期計画で実施していくことが必要な箇所については、工事の実施までに時間を要することもあるため、要望に対しての対応割合は、数値的には低いが、安全を確保するための要望に対して、ほぼ対応できていると考えている。

## ○討論の概要

### ◆反対討論（反対意見）

▼正規職員から非正規職員への置き換えが進められており、非正規職員の待遇改善が進んでいないこと、1千万円以上の建設工事の落札率が平均で98.2%となっているうえ、落札率が100%という案件が6件も存在していること、マイナンバー制度実施のため多額の経費が支出されていること、商業振興補助金では、力のある企業へ多額の経費が支出されている一方で、中小零細企業への十分な支援がされていないこと、諏訪湖SAへのスマートインターチェンジ整備は、関係住民への説明に丁寧さが欠けていたこと、経済効果があり市民に喜ばれてきた住宅リフォーム助成制度が廃止されたままの決算となっていること等、問題があるため、本決算認定には反

対する。

### ◆賛成討論（賛成意見）

▼行政を取り巻く環境が厳しさを増す中、6つの重要施策を成し遂げるとともに、行財政改革の推進や各事業の効率的・効果的な執行、各部署の経費削減努力によって適正な予算執行がされている。さらに、高齢化による社会保障費の増額や人口減少問題、公共施設の維持管理費など大変に厳しい状況の中、職員一同が真剣に取り組み、限られた財源の中できめ細かに各種事業が行われた結果、実質収支において6億3900万円余の黒字を確保された。今後、「岡谷市行財政改革3か年集中プラン」の着実な推進、ファシリティマネジメントによる管理体制、PDCAサイクルによる業務改善、公民との連携強化を推進されることを要望し、本決算認定に賛成する。  
※委員会では賛成多数により原案のとおり認定されました。

## 岡谷市国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算認定

### 問 収支状況について

答 岡谷市においては、65歳以上の国保加入割合が48.7%と県下

19市中で最も高い状況であるため、医療費が高い傾向にあると考えている。

滞納額・不納欠損額が多いことについて、国保制度は、高齢者や失業者などの加入割合が多い点が市税と異なる点である。また、子どもが失業して国保に加入しても、世帯主である高齢者の親が国保税の納税義務者となるケースも多くあり、制度的に負担をお願いしにくい方々が多いことが現実としてあるため、収納率向上に繋がらなかったり、市税に比べ不納欠損額が多くなる要因となっている。

## ○討論の概要

### ◆反対討論（反対意見）

▼国保加入者の多くが年金生活者、失業者、非正規労働者、自営業者など、厳しい生活を強いられている方々という構造的問題を抱えた会計である。また、そのことも起因して、国保税の重税状況は極限までできているが、一般会計からの繰り入れなどにより国保税の引き下げの対応がされていない決算であることから、本決算認定には反対する。

### ◆賛成討論（賛成意見）

▼実質収支、単年度収支を黒字にできたこと、国民健康保険税の調定額に対する収納率は85.8%で前年比1.1ポイントの増となっていることは、地道で丁寧な取り組みを評価すべきものであり、併せて、重税状況に対する最大限の配慮も理解するものである。平成30年度に実施される国保の都道府県化に伴う制度改正や医療費の動向に注視し、その間、適切な運営をしていただくよう要望し、本決算認定に賛成する。

※委員会では賛成多数により原案のとおり認定されました。

※その他の特別会計等についても原案のとおり認定されました。



決算特別委員会（一般・特別会計）審査の様子

## 岡谷市水道事業会計 決算認定

### 【概要】

- ・水道の需要について、年間総配水量631万2697<sup>3</sup>m、年間総給水量539万4257<sup>3</sup>mで、前年度に比べ総配水量3万5419<sup>3</sup>m、総給水量4万4322<sup>3</sup>mの減となった。
- ・収益的収支は、総収益8億3737万円に対し総費用6億7452万円で、収支差引き1億284万円の純利益となった。
- ・資本的収支は、工事負担金及び企業債の収入合計1億2287万円に対し、建設改良費、企業債償還金の支出合計4億8229万円となった。また、県の公共事業工事の進捗状況に伴い、3700万円の建設改良費を翌年度に繰り越した。差引不足額3億5942万円に対する財源は、内部留保資金等で補填した。

### 問 水道料金改定について

答 改定にあたり、上下水道事業運営審議会より「料金を平均9.7%引き上げ、料金改定期間を平成29年度から平成31年度の間とし、料金改定の時期を平成29年7月1日とすることが妥当」との答

申があり、併せて5項目の附帯意見が提出された。

### 問 動力費と節電について

答 動力費の主なものは、水源の井戸からの揚水や水を送るポンプを動かすための電力費用で、電気料金の引き下げにより前年度比約960万円の減となった。節電の取り組みとして、圧力によりポンプの回転を制御するインバーター方式の採用、料金プランの変更、LED電球への取り替えなどを行っている。

### ○ 討論の概要

#### ◆ 反対討論（反対意見）

▼水道法第1条で、「清浄にして豊富低廉な水の供給を図る」ことを求めている中で、上下水道事業運営審議会では、9.7%の水道料金の値上げを決定しているが、市民生活に直結する値上げはすべきではなかったと考えることから、本決算認定には反対する。

#### ◆ 賛成討論（賛成意見）

▼施設の老朽化を見据えた中で、将来に亘り、市民生活に必要不可欠な水道事業を経営していくためには、水道料金の改定はやむを得ないものと理解する。

安全で安定した水の確保と、そのための危機管理対策、防災対策の充実とともに、「岡谷市水道事業基本計画」を着実に推進していただき、更なる経営努力を要望して、本決算認定に賛成する。

※委員会では賛成多数により原案のとおり認定されました。

## 岡谷市下水道事業会計 決算認定

### 【概要】

- ・未整備地区0.14haの整備を行った（整備率88.3%）。下水道の接続戸数は2万265戸、接続人口は4万9122人である。年間の汚水量は568万7415<sup>3</sup>mで、前年度と比べ、1万4145<sup>3</sup>mの減である。
- ・収益的収支は総収益17億2152万円に対し、総費用14億7358万円で、収支差引き2億4794万円の純利益となった。
- ・資本的収支は、企業債、補助金、負担金の収入合計8億1515万円に対し、建設改良費、企業債償還金の支出合計13億9291万円となった。また、県施工の工事と市施工の計画策定事業の進捗状況に伴い、

2348万円の建設改良費を翌年度に繰り越した。収支不足額は5億7776万円に対する財源は、内部留保資金等で補填した。

### 問 未整備及び未接続の状況について

答 人家がある下水道の未整備地域は43箇所。理由は、低地で整備が困難、土地の権利や官民及び民々境界が確定できないなどで、解消の取組として、低地の地区には「私設汚水ポンプ設備補助金制度」や「共同排水設備工事補助金制度」の紹介をするほか、道路拡幅など他事業に関連して整備を進めている。

また、未接続世帯の戸数は、503戸で全体の約2.4%。解消に向けて融資や補助金の案内をするとともに広報による啓発を行っている。



流域下水道の負担金に関わる現地視察

下水道：クリーンレイク諏訪（豊田終末処理場）

**問** 流域下水道の負担金について

**答** 建設費負担金は、終末処理場等の建設に要する費用から、国庫補助金と県負担分を除いた額について、終末処理場を運営するため諏訪6市町村に立科町（平成28年4月加入）を加えた関連7市町村が計画汚水量割50%、計画面積割50%の割合で負担している。

また、維持管理費負担金は、一定のルールにより7市町村から徴収する負担金であり、流入汚水量1㎡当たり基本単価を62,64円としている。

**○討論の概要**

**◆賛成討論（賛成意見）**

▼下水道施設の長寿命化、下水道総合地震対策、雨水渠整備等、多くの整備事業を実施される中で、約2億4千万円の黒字決算となったことに、敬意を表する。

財源基盤の確保と、独立採算制の原則のもと、さらなる健全経営に努められることや、将来を見据えた施設の適切な維持管理の計画的な推進、危機管理対策、防災対策の充実にも積極的に取り組んでいただくよう要望し、本決算認定に賛成する。

※委員会では全会一致により原案のとおり認定されました。

**岡谷市病院事業会計  
決算認定**

**【概要】**

平成28年度は、新病院施設における通年経営の初年度となったことから、将来にわたり安定した病院経営を行うための基盤づくりの年と位置づけ、良質な医療を継続的に提供するため、診療体制の強化を図るとともに、効率的な運営に取り組んできた。

診療面では、総合診療科に新たに医師1名を配置するとともに、整形外科にも医師1名が増員となった。また、リハビリテーション科も増員を図り、診療体制の強化と充実に努めた。

決算については、経常収支で1億700万円、総収支で約1億4千万円を超える利益を計上し、経常収支では、平成23年度以降6年連続となる黒字を計上した。

**問 省エネ対策について**

**答** 地中熱冷暖房システムの導入により、電気料金に換算すると年間780万円程度軽減された。太陽光発電では、月平均約6250kwhを発電しており、電気料金に換算すると年間195万円程度

節減となっている。また、自然換気を行うエコボイドについては、外調機と連動しており、エコボイドが作動すると器械換気が停止し、外調機が停止した分だけ電気代が節電となっており、いずれも設計時に見込んだ効果が得られている。

**問 医療機器について**

**答** 昨年度に購入した整形外科の手術用機器は、上肢、肩、肘、手、指関節等の手術や治療専用の機器であり、顕微鏡については、手等の細かな神経、血管の状況を高倍率で確認できることから、神経縫合など微細な手術が出来る。従前では出来なかった上肢等の専門的な手術等に活用し、手術件数も増えている。

また、乳房撮影装置については、乳房を短時間でスキャンし、複数の画像収集が出来る3次元撮影が可能であり、患者さんにとっては、撮影時間の短縮や、乳房圧迫時の緩やかな動きによる痛みの軽減が図られ、以前は、撮影出来なかった車椅子の患者さんも撮影可能になった。

**問 待ち時間について**

**答** 待ち時間を短縮するための根本的な対策は、医師を増員することと認識している。待ち時間の負担

をできる限り軽減するために、レストランに呼び出し表示盤を設置したり、携帯電話での呼び出しやスタッフからの声かけなどに取り組んでいるが、抜本的な解決は難しいことから、長時間待っているという感覚にならないような方策を、施設的な部分も含めて研究してまいりたい。

**○討論の概要**

**◆賛成討論（賛成意見）**

▼平成28年度決算で1億4千万円の純利益が計上されたことに、敬意を表したい。

また、総合診療科の新設、地域包括ケア病床の導入など積極的な取り組みを行うとともに、診療体制の強化、最新機器の設備導入を図り、財源確保、経営改善に努められ、市民の要望に十分応えるものになっている。

今後も、接遇の改善や待ち時間の短縮、医師確保の取り組みに努められるとともに、市民病院としての役割や使命を積極的に果たしていただくことをお願いし、本決算の認定に賛成する。

※委員会では全会一致により原案のとおり認定されました。



# 各議員の議案賛否一覧表

## 賛否が分かれた議案

| 議案番号   | 件名                                 | 付託委員会 | 審議結果 | 武井富美男 | 今井義信 | 早出一真 | 渡辺雅浩 | 今井秀実 | 笠原征三郎 | 中島保明 | 藤森博文 | 遠藤真弓 | 笠原順子 | 共田武史 | 今井康善 | 竹村安弘 | 小松壮 | 大塚秀樹 | 八木敏郎 | 浜幸平 | 渡辺太郎 |
|--------|------------------------------------|-------|------|-------|------|------|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|-----|------|
| 議案第50号 | 平成28年度岡谷市一般会計歳入歳出決算認定について          | 決算特別  | 認定   | 議長    | ○    | ○    | ×    | ×    | ×     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    |
| 議案第51号 | 平成28年度岡谷市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  | 決算特別  | 認定   | 議長    | ○    | ○    | ×    | ×    | ×     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    |
| 議案第56号 | 平成28年度岡谷市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について | 決算特別  | 認定   | 議長    | ○    | ○    | ×    | ×    | ×     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    |
| 議案第58号 | 平成28年度岡谷市水道事業会計の決算認定について           | 決算特別  | 認定   | 議長    | ○    | ○    | ×    | ×    | ×     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    |
| 議案第68号 | 「全国森林環境税」の創設に関する意見書                | (総)   | 原案可決 | 議長    | ○    | ○    | ×    | ×    | ×     | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○    | ○   | ○    |
| 議案第73号 | 核兵器禁止条約に日本政府が賛同し批准することを求める意見書      |       | 否決   | 議長    | ×    | ×    | ○    | ○    | ○     | ×    | ×    | ○    | ×    | ×    | ×    | ×    | ×   | ×    | ×    | ×   | ×    |

議長：議長職のため採決に加わらず ○：賛成 ×：反対

## 全会一致により可決等された議案

| 議案番号   | 件名                              | 議案番号   | 件名                            |
|--------|---------------------------------|--------|-------------------------------|
| 報告第17号 | 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)  | 議案第62号 | 岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例       |
| 報告第18号 | 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)  | 議案第63号 | 市道路線の認定について                   |
| 報告第19号 | 専決処分の報告について(和解及び損害賠償の額の決定について)  | 議案第64号 | 市道路線の変更について                   |
| 議案第52号 | 平成28年度岡谷市地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について | 議案第65号 | 平成29年度岡谷市一般会計補正予算(第3号)        |
| 議案第53号 | 平成28年度岡谷市分収造林事業特別会計歳入歳出決算認定について | 議案第66号 | 平成29年度岡谷市病院事業会計補正予算(第2号)      |
| 議案第54号 | 平成28年度岡谷市霊園事業特別会計歳入歳出決算認定について   | 議案第67号 | 平成29年度岡谷市一般会計補正予算(第4号)        |
| 議案第55号 | 平成28年度岡谷市温泉事業特別会計歳入歳出決算認定について   | 議案第69号 | 私立高校への公費助成に関する意見書             |
| 議案第57号 | 平成28年度岡谷市湊財産区一般会計歳入歳出決算認定について   | 議案第70号 | 私立高校への公費助成に関する意見書             |
| 議案第59号 | 平成28年度岡谷市下水道事業会計の決算認定について       | 議案第71号 | 県道下諏訪辰野線拡幅改良を求める意見書           |
| 議案第60号 | 平成28年度岡谷市病院事業会計の決算認定について        | 議案第72号 | 道路整備事業に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書 |
| 議案第61号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて        |        |                               |

※議案第68～72号については、意見書を関係行政等へ提出しました。

## 陳情の審査結果

| 陳情番号   | 件名                   | 常任委員会審査結果 |      |
|--------|----------------------|-----------|------|
|        |                      | 総務        | 産業建設 |
| 陳情第66号 | 県道下諏訪辰野線拡幅改良事業に対する要望 | —         | 採択   |
| 陳情第68号 | 岡谷市内危険箇所改修についての要望    | —         | 趣旨採択 |
| 陳情第69号 | 「全国森林環境税」の創設に関する意見書  | 採択        | —    |
| 陳情第70号 | 私立高校への公費助成に関する意見書    | 一部採択      | —    |

### 平成29年第4回定例会(9月)

主な議案の審議経過

#### ◆議案第73号

核兵器禁止条約に日本政府が賛同し批准することを求める意見書

#### 本会議での提案説明(議案の内容)

「核兵器禁止条約」は、核兵器が破滅的な結末をもたらす非人道的兵器であり、国連憲章、国際人道法に反するとして、歴史上初めて核兵器を国際条約で明確に「違法化」したものである。

日本政府は「核保有国と非保有国の橋渡し役をする」「核保有国の参加しない条約は意味がない」等と言っているが、広島・長崎での被爆の惨状を経験している国として、率先して核兵器禁止条約に参加し、条約不参加を表明している核保有国に対し賛同への説得をすることが日本政府の果たすべき役割である。政府は、速やかに「核兵器禁止条約」に賛同し、批准することを強く要請する。

#### 本会議において議案の審議

#### ○討論の概要

#### ◆反対討論(反対意見)

●唯一の被爆国であるからこそ、率先して核兵器禁止条約に参加すべきだという考え方を通す前に、唯一の橋渡し役として核保有国に対する説

得を継続し、核廃絶を目指す時だと思ふことから、本議案に反対する。

●国際社会の中で、核が存在することは事実であり、核保有国抜きにして核廃絶を実現することはできず、まずは、核保有国と非保有国の溝を埋める対話が不可欠である。核兵器のない世界の実現には核禁止条約の採択などを巡って深まったが、核兵器保有国と非保有国の亀裂の橋渡しが求められており、これこそ唯一の戦争被爆国である日本の責務であることから、本議案に反対する。

#### ◆賛成討論(賛成意見)

●今、被爆者の平均年齢は84歳を越え、72年間でようやくこの核兵器禁止条約をつくることができた。唯一の戦争被爆国である日本政府は正面からそれを受け止める必要がある。核のない平和の世界を願っている被爆者と日本国民の願いにこたえるべく、本議案に賛成する。

●国連加盟国の3分の2にあたる122カ国で採択されたこの条約は、核兵器の「使用の威嚇」によって、国家間の戦争を思いとどませる安全保障論を否定したもので、大きな意義をもつものであり、条約が採択されたことは大きな一歩であることから本議案に賛成する。

以上、討論において賛否両論があったため、採決を行い、本議案については反対多数により否決された。

# 委員会活動報告

## 社会委員会

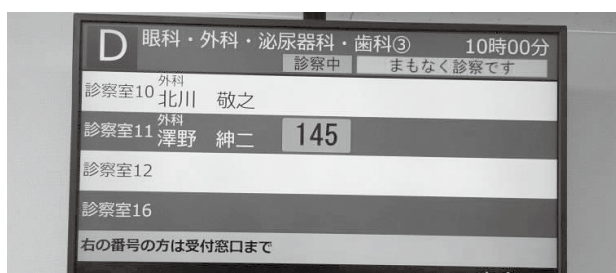
8/30(水)

### 市民の声を行政へ提言！

＝岡谷市民病院へ伝え、病院側の取り組みを聞く＝

8月22日（火）市役所庁舎で行われた三団体（連壮、連婦、高齢者クラブ）との懇談会において『岡谷市民病院の待ち時間減への対策』として、参加者から出されました「同日に複数の診療科を受診した場合の待ち時間短縮への要望」について、直ちに病院側と懇談を行い、正副委員長から直接伝えました。

同時に、院内のレストランに番号呼出表示盤の設置、携帯電話での呼出しなど、診察までできる限り負担なく過ごしてもらうよう病院側が取り組んでいる内容を教えていただき、発言者へは書面にて回答いたしました。



## 総務委員会

7/7(金)

### 公共施設の現地視察

新体制になった最初の委員会において、今後の活動方針について話し合いを持ち、総務委員会が所管する施設の理解を深め、課題を共有するために、公共施設の現地視察を行うことになりました。

今回は、多くの市民が利用する場所ということで、湊・川岸・長地の3支所・公民館、岡谷図書館、市民総合体育館を視察し、特に新病院建設の影響により入館者数が減少している図書館では、職員の皆さんと懇談を深めることができました。

図書館はその地域の知識の泉とも言われるだけに、全国的にも特色ある様々な取り組みが行われていることから、10月の行政視察で、全国的に注目を集め成果をあげている、岩手県紫波町の図書館に行ってみよう



岡谷図書館の視察

た。そこで得た情報等を、市や市民の皆さまにご報告させていただき、今後の市政に生かしてまいりたいと考えております。

## 産業建設委員会

9/2(土)

岡谷農業フェスティバル2017・JA信州諏訪農業祭岡谷会場が9月2日、イルプラザの平面駐車場で開催されました。開会式に続いて、販売や催しが開かれましたが、50張りものテント下では、採れたて野菜がずらり。マイバックなどをもった買い物客が、農家と楽しく交流・買い物をしている姿がありました。開会式では、議長と産業建設委員会の6名が紹介されました。

農業祭は「聞いたことがない野菜」「食べたことがない野菜」との出会いでもあると思います。お店の人と、「この野菜は何ですか？」「どうやって食べるとおいしいですか」と聞くことも農業祭の醍醐味。両手にたくさんの買い物袋を持ち帰る姿が、この醍醐味を物語っていました。



### 行政についての要望や意見を文書で議会に出すことができます

行政に対する市民の要望や意見を直接反映させるための方法として、誰でも請願書や陳情書を議会に提出することができます。提出方法など、詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

### 議会をシルキーチャンネルで見ましょう

一般質問をシルキーチャンネルで生中継しておりますのでご覧ください。また、本会議の会議録は、図書館、市役所1階情報コーナー、市ホームページ、議会事務局で見ることができます。

### 議会の傍聴しませんか

傍聴をご希望の方は、市役所9階の傍聴者入口前の机の上に用意されている傍聴人受付用紙に「氏名・住所・年齢」をご記入いただき議場内にお入りください。耳の不自由な方には、集音器の貸し出しを行っています。希望される方は、市役所7階の議会事務局へお立ち寄りください。入退室は、会議中でも自由にできます。



議会に対する理解が深まることを願って、議会用語を解説します。

- ・議決（ぎけつ）…… 議案などに対する議会としての意思決定のことです。議案の内容によって次のような種類があります。
- 可決（否決） 予算、条例、意見書、決議等に関するもの
- 認定（不認定） 決算に関するもの
- 同意（不同意） 人事案件に関するもの
- 承認（不承認） 専決処分に関するもの
- 採択（不採択） 請願、陳情に関するもの



# ピックアップレポート

## 三団体主催による市議会議員との懇談会が開催されました。



8月22日（火）の夜、市役所大会議室で、三団体（連合壮年会・連合婦人会・高齢者クラブ連合会）との懇談会が開催されました。当日は約50名の出席があり、はじめに総務・社会・産業建設委員会の各活動について報告した後、事前に通告いただいた市町村合併や防災対策などの質問事項に対して、議会側で市の取り組み状況などを説明し、意見交換するという形式で進められました。

三団体の皆さんからいただいた貴重なご意見は、今後の議会活動に活かすとともに、議員一人ひとりが市民の皆様の負託に応えられるよう努めてまいりたいと思います。

### 三団体からの感想

はじめに、議員の皆さんは、日頃から多くのことを学び、研究し、市民や市のために努力されていることに敬意を表します。

今回の市議会議員との懇談会では、予め事前に議会側に質問事項をお示しさせていただきましたが、議会側においてよくご検討いただき、当日は、大変有意義な懇談ができたと思います。

その中で、市町村合併については三団体にとっても大変関心のあるテーマであったことから、合併にテーマを絞って議員、参加者みんなで議論できれば、もっと内容の濃い懇談になったのではないかと感じました。

合併については、議員それぞれ考え方が違うことがわかりましたが、議員間での議論はまだ進んでいないという印象を受けました。行政、議会において早期に取り組まれることを期待するところであります。

議会におかれましては、市議会だより、政務活動費の公表等議会活動の透明化に取り組むなど、議会改革に積極的に取り組んでおられることなど、引き続き情報発信に努めていただくとともに、市民ももっと知る努力をしなければと思いました。

最後に、今懇談会にあたり、多忙の中、議員の皆さんが何度となく打合せをされ、当日に臨まれたこと、感謝に堪えません。ありがとうございました。



### 市民要望の多かった 「子ども医療費 窓口無料化」 が実現しました。

岡谷市議会では、今までに、子ども医療費窓口無料化のために国、県、市に対し要望書や意見書を提出するほか、一般質問で何度も取り上げるなど、様々な活動を行ってまいりました。

（意見書の提出3回、要望書の提出2回、一般質問延べ約15人）

そんな中、県が平成30年8月を目途に中学生までの医療費「窓口無料化」を県内一斉に導入すると決定したことを受け、今定例会において、市より「岡谷市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例」の議案が提出され、全会一致で可決されました。

このことにより、岡谷市においても、医療機関の窓口では受給者負担金（1レセプト当たり500円）を支払うのみとなり、子育て世帯の負担軽減が図られることになります。

### 編集後記

朝晩、肌寒くなってきました。読書、スポーツ、食欲の秋。市民の皆様は、どの秋を堪能されていますか。議会だより第9号は「決算認定」を特集としました。市長ほか市職員の方々とのやり取りは、議員にとりましても、ぴりぴり感じっぱいでした。

また、8月22日に、三団体との懇談会が開催され、大変有意義な懇談となりました。私たち編集委員は、市民の皆様のお声が一番の励みです。読みやすい紙面へ、皆様のご意見を反映させていただきます。議会事務局まで、どしどしお寄せ下さい。（編集委員一同）

#### ■議会広報広聴委員会

- 委員長／共田 武史
- 副委員長／今井 義信
- 委員
- 渡辺 雅浩
- 藤森 博文
- 遠藤 真弓
- 今井 康善
- 大塚 秀樹



### 寄附行為の禁止

市議会議員が選挙区内の人や団体にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されており、違反すると処罰されます。また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。市民の皆様のご協力をよろしくお願いします。

・政治家は有権者に寄附を「贈らない」・有権者は政治家に寄附を「求めない」・議員から有権者への寄附は「受け取らない」

#### <寄附行為に該当する事例>

- ・お祭り、運動会、親睦旅行会、会合等の行事や、入学式、卒業式の行事に対し、寄附、餞別、お祝い、差し入れ等を行うこと。
- ・個人に対し、お中元、お歳暮、入学祝、結婚祝を贈ること（議員自らが出席する結婚披露宴への祝儀や葬式における香典は除く）。
- ・未成年者、社会福祉施設、市町村に対する寄附や年賀状、寒中見舞状などの時候のあいさつ状を出すこと（答礼のための自筆によるものを除く）。

